

2025年6月16日

文京区長
成澤廣修 様

日本共産党文京区議会議員団

文京区主催のスポーツ大会における政治的中立性確保を求める要望書

日頃より、区民のスポーツ振興に尽力されていることに敬意を表します。

さる6月15日に区立文京スポーツセンターを会場に開催された「第39回区民ビーチボール大会」開会式において、来賓である鈴木隼人衆院議員(自民党公認・衆院東京10区選出)は、挨拶の中で「都議会議員選挙が2日前に告示され忙しいなか、中屋会長は襷をはずしてここに来ている。…皆さんの応援を賜りたい」との発言を行いました。

文京区が主催する「区民ビーチボール大会」の運営は文京区ビーチボール連盟が行っています。文京区ビーチボール連盟の会長である中屋文孝氏は、大会開会式2日前に告示された東京都議会議員選挙で自民党から立候補しており、鈴木隼人衆院議員の来賓挨拶の発言は、社会教育において求められる政治的中立を明らかに欠いています。

スポーツ普及・社会体育に係る施策や施設は、教育委員会の所管を基本とすべきとしつつ地方の実情を踏まえ、より効果的と判断される場合に自治体の判断で社会教育の適切な実施の確保に関する制度的担保が行われることを条件に、自治体の長が所管できるとされ法改正された経緯があり、文京区では首長部局のアカデミー推進部に移管されています。

私たちは、社会教育行政が首長の政治性に左右されず、中立性が確保されるよう毎年の予算要望などで繰り返し求めて来ました。

今回の鈴木隼人衆院議員の発言を容認・放置すれば、住民の多様で自由な学びの権利を保障する社会教育行政の衰退・変質を招きかねません。

区として区主催のスポーツ大会における来賓挨拶に関しては、社会教育における中立性の確保の観点が求められること確認するとともに、運営団体とも認識を一致させるよう改めて徹底することを求めるものです。

以上